

2021 年 12 月 25 日

ほしざらサロン 2021 年 11 月議事録

文責: 阪本 麻裕

日 時: 2021 年 11 月 27 日(土) 18:00~22:00

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 高尾, 高木, 町田*, 宮田

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 9 名

* リモート(Zoom) 参加者

1. 備品の更新について

望遠鏡や双眼鏡などの機材を、約 20 年を目処に更新している。前回は、1996 年に導入した、セレストロンのシュミット・カセグレン望遠鏡(28 センチメートル)とミードのシュミット・カセグレン望遠鏡(30 センチメートル)の更新で、2015・2016 年にタカハシ(10 センチメートル)の屈折望遠鏡 2 台を購入した。今回は、2002 年に導入した、ビクセンの屈折望遠鏡(8 センチメートル)と反射望遠鏡(10 センチメートル)の更新を考えている。

小野田: 購入するのであればタカハシの望遠鏡が望ましいが、同じメーカーの製品と差し替えて更新していくのか。

角田: 今のところ購入を考えている望遠鏡は、ビクセンの反射望遠鏡(13 センチメートル)である。タカハシの望遠鏡ほど高価ではないが、性能は良い。現在所持している反射望遠鏡は、鏡が剥がれてしまい劣化している。修理に出すよりも新しく購入する方が望ましい。反射望遠鏡の利点は、天頂付近の恒星や天体が見やすいということである。

宮田: 反射望遠鏡を導入し始めたときは、観望会時に出していた気がする。新しく購入を考えている反射望遠鏡は、高倍率で見応えはあるのか。

角田: 見応えは、ほぼ変わらない。ただ、広くて明るい視野になる。今は反射望遠鏡を用いての観望は行っていないため、夏の時期に天頂付近に見えるアルビレオなどを見ていな。また、反射望遠鏡を保有しているスタッフがいたため、観望会時に固定で操作してもらっていた。

高木: 反射望遠鏡を操作できる代わりのスタッフがおらず、使わなくなった可能性がある。

宮田: どのくらいの予算で考えているのか。

角田: 当時はビクセンの屈折望遠鏡(8 センチメートル)と赤道儀のセットで 20 万円ほどであった。新しく購入するか否かは、来年の観望会の内容を何にするのかも見ながら考えていく。

2. 来年の観望会(ほしざらウォッチング)について

前回のサロンで、来年の観望会の候補日について話し合いを行った。初回の観望会は、2022年3月5日(土)に実施予定である。以下、来年の観望会の候補日・内容(案)が出ていている。

★ 3月 5日(土) 「冬の星空」

19:00～19:30 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

19:30～20:30 天体観望(アカアドーム前広場)

※ 雨天時は、19時よりプラネタリウムで解説を行う。

候補日・内容(案)

★ 6月 18日(土) 「太陽の観察」 ※ 夏至 [6月 21日(月)] の3日前

★ 9月 10日(土) 「中秋の名月」 ※ 2022年の中秋の名月は9月 10日(土)

★ 6月 18日(土) 「太陽の観察」について

夏至 [6月 21日(月)] の3日前に実施予定である。

=====予定=====

17:00～18:00 太陽の観察(ユリックス正面玄関前)

18:15～18:45 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

※ 雨天時は、17時よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

★ 9月 10日(土) 「中秋の名月」について

来年の中秋の名月は9月 10日(土)であり、満月でもある。

平野: 19時30分で月の高度が約8度のため、低いのではないか。

角田: 開始時刻、または場所を変更するか。例年であれば19時30分に開始、21時に終了している。

宮田: 場所は、例年どおり風の丘で良いと思う。

平野: 今年実施したとき、月を観望する時間は1時間半もいらなかつたと思う。

角田: 昨年まではブルーシートを敷いてお客様にのんびりしてもらっていたが、今年は感染拡大防止のため、ブルーシートを出さなかつた。滞留せずに月を見た人から帰つもらつていた。

宮田: 20時開始、21時終了でどうか。

=====予定=====

18:46 月の出, 19:57 薄明終了

20:00～21:00 月の観望(風の丘)

※ 雨天時は、20時よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

その他、来年度の観望会の候補日や内容を議論した。

角田：観望会の要求水準により、年に観望会を最低4回は実施しないといけない（出張観望会を含む）。

小野田：秋に木星と土星が見える。10月15日（土）だと月は見えていない。29日（土）はサロンがあるため、15日（土）はどうか。

-->10月15日（土）に木星と土星の観望会を行う予定である。

=====予定=====

19:30～20:00 プラネタリウム解説（プラネタリウム）

20:00～21:00 天体観望（アクアドーム前広場）

※ 雨天時は、19:30よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

宮田：小学校の夏休み期間に1回、観望会は実施したい。

角田：8月に実施したいところではあるが、出張観望会の依頼も多い傾向である。来年は宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産5周年を迎えるため、大島で七夕の時期に観望会を行ってほしいという打診もきている。8月6日（土）を観望会の候補日したいが、その前後で観望会の依頼があるかもしれない。8月20日（土）はどうか。

-->8月20日（土）に夏の恒星をメインとした観望会を行う予定である。

=====予定=====

19:30～20:00 プラネタリウム解説（プラネタリウム）

20:00～21:00 天体観望（アクアドーム前広場）

※ 雨天時は、19:30よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

【まとめ】

2022年の観望会は、計5回を予定している（スタンプカード実施回）。

★ 3月 5日（土）「冬の星空」

19:00～19:30 プラネタリウム解説（プラネタリウム）

19:30～20:30 天体観望（アクアドーム前広場）

※ 雨天時は、19時よりプラネタリウムで解説のみを行う。

★ 6月 18日（土）「太陽の観察」 ※ 夏至 [6月21日（月）] の3日前

17:00～18:00 太陽の観察（ユリックス正面玄関前）

18:15～18:45 プラネタリウム解説（プラネタリウム）

※ 雨天時は、17時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 8月20日(土)「夏の星空」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19時30分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 9月10日(土)「中秋の名月」 ※ 2022年の中秋の名月は9月10日(土)

20:00～21:00 月の観望(風の丘)

※ 雨天時は、観望会を中止し20時よりプラネタリウムでの解説に変更する。

★ 10月15日(土)「木星・土星」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19時30分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

※ 2023年の初回の観望会は3月上旬頃が良いのではないかという案も出ている。

3. クリスマスの活動について

例年、12月の土曜日・日曜日の子ども向けプログラムの前後に、職員やスタッフがサンタやトナカイ等の格好をお出迎え・お見送りしている。昨年度は感染拡大防止のため、衣装を兼用で使用せず、それぞれ専用の衣装を用意し着用した。今年度も昨年度と同様にする予定である。

4. 12月の活動について

★ 12月11日(土) ほしざら友の会(9:30～10:45 流星について)

★ 12月25日(土) Xmasツリー片付け・ほしざらサロン(18:00～22:00)

次回のほしざらサロンは、2021年12月25日(土)です。